

その三「校区美化活動」

訪 問 日	平成30年11月18日（日）
訪問場所	福田地域会館周辺、福田小学校
主 催 者	福田校区自治連合協議会、福田小学校PTA
訪 問 者	田間 泰子委員（主催者として、植木 聡委員）

■ 概 要

「校区美化活動」とは

- 福田校区自治連合協議会による「校区美化活動」、および福田小学校による日曜参観を兼ねた清掃活動です。
- 「校区美化活動」は、6月と11月の年2回行っており、そのうちの一回です。
- 「校区美化活動」では、あわせて放置自転車を発見した場合、市に報告したり、電柱への「張り紙」「簡易立て看板」の撤去も行っています。



校区内のさまざまな団体の方々が、会館前に集合しており、とてもにぎやかな様子でした。



PTAの方々は学校周辺を清掃していました。

「福田校区自治連合協議会」とは

- 福田校区内における複数の自治会の意見調整や、校区内に共通する地域の問題解決を図っています。また、区役所と協働を深め、さらに地域住民とともに明るく住みよい安全なまちづくりを進めています。
- 主に次の活動を行っています。
 - 行政への委員推薦事務に関すること
 - 依頼物の伝達に関すること
 - 校区内での文化祭や、防災訓練、美化活動などの校区内の各種団体との連携による活動に関すること

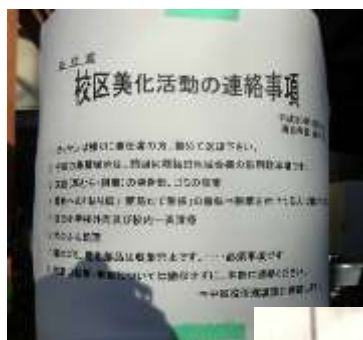
「キーパーソン」からお話を伺いました

岸田 勝夫 さん（福田校区自治連合協議会 会長）
中野 巳左夫 さん（福田校区自治連合協議会 事務局長）
○次のお話をさせていただきました。

20年以上続いている地域の清掃活動で、初めのころは参加団体も少なかったけれども、今では21もの団体が参加されている地域の一大イベントです。自分の住んでいる町を清掃しながら、お互いにコミュニケーションがとれます。地域を美しくという目的の他、地域を知る、地域を守ることもできていると思います。横のつながりが強くなればという思いがあります。

和田 正 先生（福田小学校校長）
○次のお話をさせていただきました。

常日頃から地域活動に参加するように、児童たちに呼びかけています。普段、登下校の見守りなどでお世話になっているので、地域の方に少しでも恩返しができればという思いです。今回、地域の清掃活動の日に日曜参観をあわせることで、よりたくさんの児童や保護者が、地域の方々に感謝しながら一体感を持って、清掃できる良い機会になったと思います



集合場所には連絡事項の貼紙がしてあり、福田校区の美化活動が定着していると分かりました。

たくさんの児童や保護者が積極的に清掃を行い、地域の「つながり」が広がっていました。

受付で、ビニール袋や火鉢を受取っていて、地域の美化活動の普段の様子がうかがえました。



予算について

○自治連合協議会の環境美化活動費として、年2回分45,000円ほどの予算を計上しています。

「堺が考える社会教育」の観点からみると

ともに学んだり、教えたりするためには

堺市社会教育委員会議提言書 13頁

○地域のさまざまな年齢の方々が清掃活動に取り組んでいます。挨拶から始まるコミュニケーションを通じて、地域についてともに学んだり、教えたりする良い機会となりました。

例えばこんなこと【気づく】

○自治連合協議会の方々は、10年、20年と清掃活動に関わってきて、ごみが少なくなった、きれいになったとおっしゃっていました。普段「通り道」に過ぎなかったところが、年に2回の清掃活動では担当区域をつぶさに見て回るので、美化活動は清掃という当初の目的を超えて、住民が地域をより深く知ること役立っています。

例えばこんなこと【表わす】

○活動は、チームごとに担当区域でひとつの袋にごみを入れます。出会えば互いに挨拶しあう作業であることから、活動を通じてコミュニケーションを持つことができます。

例えばこんなこと【分かちあう】

○福田校区自治連合協議会：各団体のみなさん、その他の地域住民の方々が、合わせて約200人参加されました。普段は別々の目的を持って活動している諸団体が、年に2回美化活動に参加することで、地域住民として活動・意識を分かちあっています。

○福田小学校PTA：教職員、児童、PTA役員、その他の保護者の方々が、合わせて約600人参加されました。2限目の授業参観に合わせて1限目に美化活動を行うことは、校長先生の発案で今回初めての試みでした。父親たちが多数、1限目から参加しておられ、平日仕事のため学校や地域の関わりにくいとの話もお聞きし、日曜に開催したことで「つながり」の第一歩は大成功だったと思います。

事前に配布していた案内文にはたくさんの参加団体が記載され、地域の「つながり」が分かります。

各単位自治会長 殿
各種団体長 殿

平成30年10月28日
福田校区自治連合協議会
会長 岸田 勝夫

平成30年第2回校区一斉

環境美化活動のご案内

晩秋の候、皆様方には、益々ご清浄の事とお慶び申し上げます。
平素は自治連合協議会運営に、多大のご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、恒例になっております、福田校区自治連合協議会の環境美化活動として主要道路の清掃活動を、下記の通り実施致しますので、万障お繰り合わせの上、各単位自治会役員の方始め各種団体役員の方、地域の方のご参加をお願い致します。

言 己

- 日 時 平成30年11月18日(日) 小雨決行
午前8時(集合時間)～
- 集合場所 福田地域会館前の駐車場
- 活動内容
 - ① 道路と側溝の散敷・空き缶、ゴミの収集
 - ② 小学校外周道路・側溝の清掃作業(除草含む)
 - ③ 不法広告物撤去活動
電柱への「貼り紙」「簡易立て看板」の撤去
……撤去可否については各自治会の「違反簡易広告物撤却活動員」に確認下さい。

以上

11/18(日)校区一斉美化活動参加人数・清掃エリア・実績

地区名	参加人数		清掃エリア
	予定	実績	
1 西中自治会	7 人	人	西村・中村旧街道と西中地域全般
2 北庄自治会	15		北庄内旧街道・北庄地域全般
3 福田住宅自治会	5		福田住宅地域全般+α人
4 福田東自治会	6		福田東地域全般
5 福田北自治会	8		福田北地域全般
6 連合老人クラブ	3		西中・北庄旧街道全般
6 体育振興委員会	7		東山線とバス停留所⇒小学校から東山線北野田方面へ(右側歩道)
7 民生委員	5		東山線とバス停留所⇒福田住宅バス停留所から東山方面へ(右側歩道)
8 更生保護女性会	5		同上
9 小学校PTA	0		全児童一斉外周及び校内清掃
10 連合子ども会	0		同上
11 校庭開放委員	1		東山線とバス停留所⇒福田住宅バス停留所から東山方面へ(右側歩道)
12 青少年指導委員	9		東山線とバス停留所⇒福田住宅バス停留所から東山方面へ(右側歩道)
13 交通指導員	8		地域会館の高木菜刈り外周清掃・電柱張り紙・看板撤去
14 母子奉養福祉委員会	5		地域会館から西尾モーターズ⇒東山線北野田方面へ福田住宅経由地域会館へ
15 保護司会	3		東山線とバス停留所⇒小学校から東山線北野田方面へ(右側歩道)
16 防犯委員会	1		同上
17 東中PTA	2		同上
18 連合女性会	10		受付と地域会館回り
19 エコ・アスユランス	5		エコ自治会地域全般 人
20 シャンアリーナ	3		アリーナ自治会地域全般 人
21 シャーロットタウン	5		シャーロット自治会地域全般 人
合 計	113 人	0 人	

注1 電柱への「貼り紙」「簡易たて看板」の集積場所は、一般ゴミと区別しておく事。

2 今回の集積場所は、福田地域会館の借用駐車場に変わりました。

3 ゼッケンは帰りに返却下さい。

○年齢や立場の異なる方々がお互いを尊重しているという「人権」の観点、地域で長年続く活動であり、経験が蓄積されているという「先人」の観点から、堺らしさが根付いていると考えることができます。

例えばこんなこと【人権】

○清掃活動の際に必要な道具やゴミ袋は、自治連合協議会が準備することで各家庭に負担をかけないことが、気軽に参加できる要因だと言えます。

○小学校の提案で、清掃活動の日に日曜参観を組み合わせていました。そのおかげで、普段、学校行事や地域のイベントに参加しにくい保護者も多数来られていました。

例えばこんなこと【先人】

○20年近く継続されている清掃活動のおかげで、地域全体のゴミはかなり少なくなったとのことでした。きれいな町は子どもたちの健全育成につながるのではないのでしょうか。

○各自が自分の地域をくまなく回することで、地域の変化に気づくことができます。安全安心なまちづくりという地域の課題に対して自ら解決するという中世の自治都市に裏付けられる住民自治が根付いています。

さまざまな「つながり」

○福田校区の「校区美化活動」に、福田小学校の日曜参観の一環として清掃活動をあわせることで、さまざまな担い手がつながっていました。

例えばこんなこと【担い手】

○自治会の方々、各種団体の方々、たくさんの保護者と児童全員、そして校長先生をはじめ全教職員が参加していました。

例えばこんなこと【場所・空間】

○福田校区と福田小学校が清掃というひとつの目的を共有することで、地域の方々と保護者、児童にとってどちらも大切な場所になっていました。

例えばこんなこと【物事】

○校区美化活動ではみなさんがゼッケンをつけることで一体の気持感を持って、参加されていました。広い範囲を清掃する人々の気持ちをつなげるために役立っていました。



美化活動の参加者全員に支給されたゼッケンのおかげで、一目で清掃活動参加者だと分かりました。

自治連合協議会の方々が、小学校で排出されたゴミ袋を回収されていました。トラックいっぱいになりました。



「つながり」の質

○児童たちがそれぞれの役割をこなしている場所を、地域住民や保護者に見守られることで地域の「つながり」ができていました。

例えばこんなこと【違いを認めあう「つながり」】

○大人は力の必要な溝掃除を行い、子どもは低い目線でしか見えないところの草むしりを行うなど、得意なことをお互いに認めあい協力していました。

例えばこんなこと【外に開かれている「つながり」】

○学校という閉鎖された空間を、地域の美化活動の対象にすることによって、子どもたちは地域との「つながり」を感じることができているようでした。

例えばこんなこと【自ら進んでいく「つながり」】

○地域住民や保護者が率先して美化活動に携わることで、子どもたちにも美化活動の意識が高まっていくようです。子どもたちのなかでも、高学年が率先して美化活動を行うことが低学年の模範となり、みんなが自ら考えて行動していました。

学校内では、保護者と児童がそれぞれ協力して、互いに認めあいながら、清掃していました。



■ つながるといいな

○すでに十二分につながっておられると思います。しかし、地域の方の美化活動に、中高生の姿が見られませんでした。今後、福田小学校を卒業した児童たちが、中学校に入った後、地域活動として参加してくれると良いと思います。

■ 訪問して感じたこと

○朝一番に訪問した自治連合協議会の「つながり」をまず素晴らしいと感じました。参加人数が多いことその他、少人数のチームで区域を分担して丹念に見て回るなどの組織的な工夫と、美化活動を始めて10年、20年という蓄積によって地域をよく見てよく知るという、地域への関心の醸成が行われており、美化という活動目的を超えた地域の「つながり」、地域への愛着が作られていると感じました。参加しておられる方々は、みなさん、楽しそうでした。

○次に訪問した福田小学校で、印象に残ったことが三つあります。第一に、1限目からお父さんたちが多く参加しておられたことがまず印象的でした。男女にかかわらず、フルタイムで働く保護者は地域や学校に関わりづらいますが、今回の企画は「普段は忙しいけれども、もっと地域や学校とつながりたい」と思っている方々にとって、とても良い機会だったと思いました。保護者の就労は増えているので、今後の良いモデルになると思います。第二に、保護者が来ているご家庭も、親と子が別々に活動に参加していました。そのことによって、親子それぞれの自立的な活動が、「校内と学校周辺」という同じ空間で緩やかにつながりながら可能になっていました。子育ての最終目的のひとつは、子どもが自立し、地域で生きていく力をつけることです。子どもがそのような育ちの姿を見ることで親もまた育つことができると思いました。第三に、児童さんたちがとても楽しそうで、自分の住んでいる地域でも美化活動に関心を持ちたいと話していたのが素晴らしいです。ただ、このことを家庭では話さないとおっしゃっていたのが残念でした。ぜひ話題にしてみてくださいと思いました。



清掃中のお父さんは、「平日は参加できないので、日曜参観にこのような行事を入れてくれるのは、ありがたい」とのことでした。

■ 主催者からのメッセージ

社会教育って？

○社会教育と聞くと何か難しく物事を考えがちですが、今回の校区美化活動で言えば、保護者同士の交流や、自分の住む地域の清掃活動に参加することで、私たち大人が気づきや学ぶことが社会教育だと考えます。何気ない会話の中でも、「そうなんだ！」と思えることが一つでもあれば、参加した意味があると思います。

「つながり」を広げるって？

○今回の美化活動は、小学校の日曜参観前に行われました。普段は、地域の活動に参加できない保護者の方に、いろいろお話を伺うことが出来たのは良かったと思います。これを機に、自治会やPTAの活動に少しでも理解が得られ、交流が生まれることでつながりが出来ていくのだと思います。

訪問してみたらいかがですか？

○多くの学校園や地域では、清掃活動を行っていると思いますので、参加してみてもいいのではないでしょうか。

■ 社会教育委員会議の活動や提言書については、堺市ホームページで公開しています。



「堺市」 「社会教育」

検索

